

学 校 運 営 協 議 会 会 議 録

会議の名称		習志野市立 第二中 学校 第 4 回 学校運営協議会			
開催日時		令和 7 年 2 月 13 日 (木) 【開会】 13 : 30 【閉会】 15 : 20			
開催場所		第二中学校 校長室			
委員の出欠		1 小柳 茂	6 張替 正信		
		2 古田 祥司	7 河島 健		
		3 三橋 秀朋	8 田中 玲子		
		4 津澤 美穂	9 蓮 一臣		
		5 吉田 ルミ	10 伊藤 将啓		
傍聴者		0 名			
協議等 要旨		議題	協議結果・意見の概要等		
	1	授業参観について	・環境面で階に教室の温度差があるように感じる。暖かすぎて、眠くなってしまうのではないかな。 → 感染症対策で換気を徹底しているため、廊下側の扉を開けて授業を行っている。そのため、教室の温度を一定の温度まで上げている現状がある。今後は、教室の環境を確認して、それぞれに適した温度設定にしていける。 ・最近、下駄箱がない学校が増えてきたというニュースを見た。習志野市ではどのようなになっているのかな？ → 習志野市はすべての学校で下駄箱がある。新しい学校なので、清掃指導も含め大切に使う意識を持たせていきたい。 ・保育実習の感想を読んで、こういった経験が大切だと思った。 ・技術の授業でのこぎりが簡単に取れるのが気になった。 ・いつ来ても廊下に砂があるように感じる。 → 清掃はしっかりやっているが、校舎の構造上砂が入ってきてしまう。現在、清掃のやり方を変えてみたり、試行錯誤しながらどういったやり方がいいのか模索している。 ・旧校舎と新校舎を経験している生徒だからこそ、新校舎のいつまでもきれいに保ち、それを後輩たちに伝えていってもらいたい。 ・生徒たちの目がキラキラしていて、積極的に取り組んでいて良かった。 ・黒板側には、何も掲示物がないがこれは意図的なものなのか？ → ユニバーサルデザインの観点から、前面には原則掲示しないことになっている。 ・この校舎を地域の方にも有意義に使ってもらい、地域に開かれた学校になってもらいたい。 ・ベテランの先生の授業の雰囲気がいい。若い先生には授業を見てもらうといい。 ・ユニバーサルデザインを意識するのであれば、板書をもっと大事にしなければいけない。 ・英語のデジタル教科書をどのように活かしているのかな？ → QRコードを読み取って、音読等で使用している。		
	2	教育課程について	・合唱コンクールは、習志野文化ホールが使えなくなり今後どうなっていくのかな？ → 他市のホールを使用して実施する予定。 ・学校では、実施できないのかな？ → 生徒たちは、良いものをつくり上げようと一生懸命取り組んでいる。そのため、環境のいいところで発表をさせてたいということと、保護者の方にも制限をかけずに参観していただきたいため、今後もホールで実施しようと考えています。		
	3	学校評価について	・質問の内容は、どのように決めているのかな？ → 学校が決めている。 ・質問の内容で、「二中はPTA活動は活発である」という文言は変えたほうがいい。 → 来年度の質問では削除の方向で検討する。 ・経年変化で心配なところはあったのかな？ → 今年度は、回答を4つに増やした。(あてはまる)「どちらでもない」「あてはまらない」の3段階→「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階)そのため、経年変化で比較することは難しいので、次年度以降に比較する。心配な点については、家庭学習の定着が図れていないこと。授業改善をしっかりと行い「できた」「わかった」の経験を積ませていくことで、学習意欲を高めていきたい。 ・職員の質問で「生徒は、礼儀正しく、元気よく挨拶ができる。」で評価が低いのはなぜかな？ → 二中の生徒は、挨拶がよくできるという認識はある。しかし、新校舎になり以前のように積極的な挨拶は少なくなっているように感じている。この状況について、学校は課題として捉え、会議等で職員で共通理解を図り改善しようと取り組んでいるため、このような評価になったと考えられる。 ・生徒に対する質問で「二中が好きである。」が96%あることは、すごいことだと思う。		
活動	授業を参観した。		意見等	どの生徒も落ち着いて授業に参加していた。	